

研究指導・研修等に関する事業一覧

プロジェクト名	担当部門	頁
国際研修 紙の保存と修復（修 14）	修復技術部	99
博物館・美術館等の保存担当学芸員研修（保 06）	保存科学部	100
連携大学院教育（共）	保存科学部	102
博物館学実習（美 15）	美術部	103
博物館・美術館等の館内環境調査と援助・助言（保 13）	保存科学部	104
文化財の材質構造に関する調査・助言（保）	保存科学部	106
文化財の保存修復及び整備に関する調査・助言（修）	修復技術部	107
無形の文化財の保存・伝承・活用等に関する調査・助言（芸）	芸能部	108
文化財の虫害等に対する調査（保）	保存科学部	108
龍門石窟研究院研究員の受け入れ（セ）	国際文化財保存修復 協力センター	109

国際研修 紙の保存と修復 (修 14-04-2/3)

目 的

海外で所蔵されている紙文化財は、日本と違った気象条件で長期間保存されてきたために、乾燥による糊離れや本紙の折れ・破れなど損傷をもった作品が多い。また、担当者の不慣れな取り扱いによって作品を破損する場合もある。日本美術品の保存修復を行うには、材料・技法などの基礎的な理解と取扱いや修復に関する実技研修が必要である。本研修は、和紙に関する保存修復の演習を通して、研修参加者に紙文化財に関わる基礎知識を伝えるものである。

概 要

研修日程 2004 (平成16)年9月13日(月)～10月1日(金)

研修場所 東京文化財研究所修復技術部第二修復アトリエ・京都国立博物館文化財保存修理所

研修対象 紙の保存と修復を担当する学芸員および保存担当者

研修内容

< 講義 >

装演技術概論	岡 泰央	(株)岡墨光堂
和紙について	大川昭典	吉備国際大学講師
絵画材料・装演材料とその使い方	山本記子	東京文化財研究所修復技術部調査員
日本の紙修復材料について～膠着剤を中心に～	早川典子	東京文化財研究所修復技術部修復材料研究室
紙資料の大量強化処理の試み	園田直子	国立民族学博物館文化資源研究センター助教授

< 実習 >

9月13日：参加者全員による自己紹介とプレゼンテーション

9月14日～30日：基本的な装演技術の実習（補紙、乾燥、肌裏打ち、増裏打ち、仮貼り、折伏せ、総裏打ち、本紙継ぎ、軸付け、巻緒など）

9月21日～22日：装演の見学（京都国立博物館文化財保存修理所）

9月23日～24日：(エクスカーション)伊野町立紙の博物館・土佐和紙工芸村・浜田幸雄工房
高知県立紙産業技術センター・鹿敷製紙

10月1日：研修に関するディスカッション、研修参加者（12名）

ホン・チ・ト・クエン	ベトナム民族博物館	ベトナム
カール・ローレンス	ルーブル美術館	フランス
コスト・メブルディン	カジウスレブベッグ図書館	ボスニア・ヘルツェゴビナ
オスマニー・クルス・デ・ラ・フェ	キューバ国立サンチャゴ歴史図書館	キューバ
マランビーニ・パレンティーナ	大英博物館	イギリス
ギャンバット・ギヤントウヤ	文化遺産センター	モンゴル
レオン・ブラボ・パウラ・カロリーナ	ハンティントン図書館	アメリカ合衆国
ラトヤナケ・ムディヤンセラゲ・サマパリカ・ウィジャヤナマ	国立文書館書籍修復家	スリランカ
タンドン・アパーナ	アマルマハール美術館	インド
マーチャ・ハンナ	ワルシャワ国立歴史資料館	ポーランド
勝木 言一郎	東京文化財研究所美術部	日本
皿井 舞	東京文化財研究所情報調整室	日本

< 報告書 > 『International Course on Conservation of Japanese Paper 2004』 東京文化財研究所 164p 05.3

研究組織

加藤 寛、早川 典子、加藤 雅人、染谷 香理、加藤 恵（以上、修復技術部）

博物館・美術館等の保存担当学芸員研修（保06-04-4/5）

（1）保存担当学芸員研修 期間：2004（平成16）年7月6日（火）～16（金） 参加者数 31名

近年博物館・美術館の数が増加すると共にその施設が近代化し、燻蒸室、保存・修理などの保存に関する設備が整備されて保存部門を担当する職員が配置されつつある。しかし、これらの職員が保存科学の知識や技術を修得しようとしても適当な学習の場がないのが現状である。そのために博物館、美術館などの学芸員の保存担当者を対象に、文化財の科学的保存に関する基本的な知識及び技術について研修を行い、その資質の向上をもって文化財の保護に資することを目的とし、第21回研修会を開催した。

7月6日（火）

保存科学	総論		佐野千絵
保存環境	各論	文化財の材質と構造	早川泰弘
保存環境	各論	温湿度	石崎武志
保存環境	実習	温湿度測定機器の取扱い	吉田直人

7月7日（水）

生物被害	概論		木川りか
生物被害	各論	文化財害虫	山野勝次・木川りか
生物被害	実習	文化財害虫同定	山野勝次・木川りか
生物被害	各論	生物防除法	木川りか
保存環境	実習	湿度の制御法	石崎武志

7月8日（木）

保存環境	各論	室内汚染	佐野千絵
保存環境	実習	室内汚染の測定法と環境調査	佐野千絵
保存環境	各論	大気汚染とその影響	早川泰弘
保存環境	実習	調査1	石崎武志・佐野千絵・吉田直人

7月9日（金）

調査手法	各論	構造調査	三浦定俊
保存環境	各論	光と劣化・照度基準	吉田直人
保存環境	各論	展示・梱包ケースの温湿度調節	東京国立博物館 神庭信幸
保存環境	実習	東京国立博物館の資料保全計画	神庭信幸

7月12日（月）

ケーススタディ	博物館・美術館における収蔵・展示の問題とその対策	石崎武志・佐野千絵・吉田直人
---------	--------------------------	----------------

7月13日（火）

劣化と保存	各論	日本画	昭和女子大学 増田勝彦
劣化と保存	各論	紙	増田勝彦
調査手法	各論	材質調査（無機物）	早川泰弘
保存環境	実習	調査2	石崎武志・佐野千絵・吉田直人

7月14日（水）

劣化と保存	各論	遺跡と水	石崎武志
劣化と保存	各論	考古資料	青木繁夫
生物被害	各論	カビ	木川りか
生物被害	実習	カビの除去	保存修復支援技術者 絵画・書跡 山本記子
生物被害	実習	殺虫処置	木川りか

7月15日（木）

劣化と保存	各論	油彩画	東京芸術大学名誉教授 歌田真介
劣化と保存	各論	修復材料	早川典子
劣化と保存	各論	漆工品	加藤寛

調査手法 各論 -材質調査(有機物)

吉田直人

7月16日(金)

博物館の設計と設備-防災・防犯

三浦定俊

研修参加者名

青木 司	天野 秀昭	安齋 信人	飯島 礼子	石田 敏紀	伊藤 純
伊藤 由美	岩田 茂樹	梅澤亜希子	加藤 陽介	木下 悟	窪美西嘉子
小林 優子	左近充直美	佐々木 整	高梨 光正	高橋ゆみ子	高良 都
龍田麻紀子	田邊 幹	鳥越 俊行	長井 健	野中 仁	橋本 眞次
松岡 智訓	馬淵 美帆	水沢 教子	村上 博秋	山村真智子	吉田 積
岩 素芬					

所属

愛知県美術館	岩国徴古館	岩手県立博物館	愛媛県美術館
王国歴史博物館	大分県立先哲史料館	大阪市教育委員会事務局文化財保護課	
岡山県立博物館	香川県立文化会館	神奈川県立近代美術館葉山	
九州国立博物館(仮)設立準備室		国立故宮博物院	国立西洋美術館
国立歴史民俗博物館	斎宮歴史博物館	埼玉県立博物館	財団法人永青文庫
財団法人平野美術館	島根県立美術館	静嘉堂文庫美術館	千葉県立大利根博物館
鳥取県立博物館	砺波市美術館	長野県立歴史館	奈良県立美術館
奈良国立博物館	新潟県立歴史博物館	白沙村荘 橋本閔雪記念館	福井市美術館
文化庁文化財部美術学芸課	宮崎県立美術館		

(2) 資料保存地域研修

博物館・美術館などの文化財公開施設における資料保存は、保存を担当する学芸員の努力によっていることはもちろんであるが、学芸員以外の館長、事務官や警備員、監視員、空調機器の管理・保守作業員など、博物館の様々な業務に携わる多くの人々の理解がなければ、円滑に進まない。特に2004(平成16)年末の臭化メチルの全廃に向け、IPM(総合的害虫管理)を実施するために、できるだけ多くの館関係者に文化財の保存に関する基礎的な知識を理解してもらう必要がある。本研修は文化財保護に関する知識を、文化財公開施設に勤務するできるだけ多くの職員に短い日数で学んでもらうため、各地の博物館協議会などの協力を得て平成10年度より開催するものである。

[第13回] 2005(平成17)年1月27日・28日、於：静岡県立美術館、共催：静岡県教育委員会、静岡県博物館協会

参加者数 67名

プログラム・講師

保存環境の概論	佐野千絵
温湿度の制御と管理	犬塚将英
空気汚染の制御と管理	吉田直人
照明の制御と管理	吉田直人
これからの生物被害防除法	木川りか

連携大学院教育 東京芸術大学：システム保存学（保存環境学、修復材料学）（共）

1995（平成7）年4月より東京芸術大学大学院と連携して大学院教育を行い、21世紀の文化財保存を担う人材を育成している。システム保存学教室は、文化財の保存環境を研究する保存環境学講座と保存修復に用いる材料について研究する修復材料学講座の2講座から成っている。各講座3名ずつ研究所員が連携教員として研究教育指導に当たっている。

大学院学生の定員は、修士・博士課程ともに各学年2名である。平成16年度は2名の修士課程大学院生が在籍した。

連携教員および主たる担当授業

保存環境学講座

- 連携教授 三浦定俊（協力調整官）
- 連携教授 石崎武志（保存科学部長）
- 連携助教授 佐野千絵（保存科学部生物科学研究室長）

修復材料学講座

- 連携教授 青木繁夫（国際文化財保存修復協力センター長）
- 連携教授 加藤 寛（修復技術部長）
- 連携助教授 川野邊渉（修復技術部修復材料研究室長）
- 客員教授 鈴木規夫（東京文化財研究所長）
- 非常勤講師 大野 彩（保存科学部協力研究員）
- 助 手 松島 朝秀

開設講座と主たる担当教員

- 保存環境計画論（前期） 三浦定俊 連携教授
- 保存環境学特論（後期） 石崎武志 連携教授・佐野千絵 連携助教授
- 修復計画論（前期） 青木繁夫 連携教授
- 修復材料学特論（前期） 今期は開講せず
- 修復材料学演習（前期） 今期は開講せず

文化財保存学演習

- 2004（平成16）年4月27日 「X線透過撮影法」（於：東京文化財研究所） 三浦定俊 連携教授

（3）修士論文指導

- 保存環境学講座（指導教官 石崎武志 連携教授） 古谷 太慈 「土壁の水分特性と倉内の湿度安定性」
- 修復材料学講座（指導教官 加藤 寛 連携教授） 神谷 嘉美 「漆塗膜の劣化と強化に関する研究」

博物館学実習（ 美 15-04-4/5 ）

画家黒田清輝の作品、資料を所蔵・展示する黒田記念館を担当管理する美術部では、博物館学教育に資するため、毎年博物館学実習を開催している。平成 16 年度は下記の日程で行われた。

第 1 日 8 月 30 日（月）

10:00～10:30	オリエンテーション	美術部黒田記念近代現代美術研究室	塩谷 純
10:30～12:00	東京文化財研究所所蔵の美術資料	美術部黒田記念近代現代美術研究室	塩谷 純
13:00～17:00	近・現代美術資料の収集・作成	美術部黒田記念近代現代美術研究室	

第 2 日 8 月 31 日（火）

10:00～12:00	近・現代美術資料の収集・作成	美術部黒田記念近代現代美術研究室	
13:00～14:00	現代美術資料について	現代美術資料センター 笹木繁男	
14:00～17:00	近・現代美術資料の収集・作成	美術部黒田記念近代現代美術研究室	

第 3 日 9 月 1 日（水）

10:00～11:00	美術史学研究と情報処理	情報調整室 綿田 稔	
11:00～12:00	美術史研究と光学的画像	美術部 津田徹英	
13:00～14:30	黒田清輝《智・感・情》返却見学	美術部黒田記念近代現代美術研究室	
15:00～17:00	美術品の調査について	美術部 中野照男・勝木言一郎	

第 4 日 9 月 2 日（木）

10:00～11:00	文化財保存について	保存科学部生物科学研究室 佐野千絵	
11:00～12:00	文化財の修復について	修復技術部 加藤 寛	
13:00～15:00	漆芸修復見学	修復技術部	
15:00～17:00	近・現代美術資料の収集・作成	美術部黒田記念近代現代美術研究室	

第 5 日 9 月 3 日（金）

10:00～12:00	展示について	美術部黒田記念近代現代美術研究室	田中 淳
13:00～17:00	仮想展覧会企画案発表	美術部黒田記念近代現代美術研究室	

第 6 日 9 月 4 日（土）

全日 展覧会見学とまとめ

平成 16 年度は、7 大学から 11 名の実習生を受け入れた。なお実習生にはアンケートを実施、実習内容についての回答は「大変満足した」9 名、「おおむね満足だった」2 名と、全員が満足感を得たことがわかる。

実習生の感想は以下のようなものだった。

「学校では学ぶことのできなかつた保存科学や修復についての講義がとても勉強になった。また、修復のアトリエ、収蔵庫、展覧会貸出作品の返却や点検など、特別な事をたくさん経験させていただけたことが、本当に嬉しく、感謝しています。企画展発表も自分自身の考えを発表したり、他の実習生の発表を聞いて刺激になりました。」

「研究所というといくらか閉鎖的な印象を受けますが、明るくオープンな雰囲気がとても良かったです。」

「講義として沢山の先生から学んだものが、次のステップとして自分の目の前に存在し、すぐ実験として学ぶことが出来た。先生方が凄く親身になって答えてくれて、私が考えていた文化財のイメージとは全然違った。」

博物館・美術館等の環境調査と援助・助言（保 13-04-3/4）

国宝・重要文化財などの指定品および東京国立博物館収蔵資料の借用に関して館内環境調査を行い、報告書を作成・提出した。

秋田	秋田県立博物館	京都	泉涌寺心照殿
茨城	茨城県陶芸美術館		八幡市松花堂美術館
栃木	鏝阿寺収蔵庫	大阪	美原町立みはら歴史博物館
群馬	藤岡市埋蔵文化財センター	兵庫	太子町立歴史資料館
埼玉	寄居町埋蔵文化財センター	和歌山	高野山霊宝殿平成大宝殿
東京	文京ふるさと歴史館	山口	萩市博物館
神奈川	神奈川県立近代美術館葉山 大山寺重要文化財保存施設	香川	金刀比羅宮社務所別館ギャラリー
富山	高岡市美術館	高知	高知県立文学館
岐阜	飛騨・世界生活文化センター「ミュージアム温故知新」	福岡	北九州市立自然史・歴史博物館 伊都国歴史博物館
静岡	浜松市美術館	熊本	熊本県立装飾古墳館
愛知	名古屋市蓬左文庫	大分	大分市美術館

現地調査は青森県立美術館、高崎山観音塚考古資料館、東京美術倶楽部、明治神宮外苑聖徳記念絵画館、一橋大学古典資料センター貴重書庫、文京ふるさと歴史館、田端文士村記念館、成城大学図書館、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館、伊勢神宮神宮文庫、京都市元離宮二条城、平等院、熊本県立装飾古墳館、上野原遺跡縄文の森展示館の14館。

また北海道立近代美術館など、全国148館の新設既設美術館・博物館等文化財展示収蔵施設に対して環境改善に関する相談を受け、助言を行った。これらの館については各館ごとに環境調査ファイルを作成して調査を行っている。

北海道	北海道立近代美術館	群馬	高崎山観音塚古墳資料館 藤岡町埋蔵文化財センター収蔵庫 東村立富弘美術館 群馬県立歴史博物館 藤岡市郷土博物館
青森	青森県立美術館		
岩手	花巻市博物館 盛岡市遺跡の学び館 陸前高田市立博物館	埼玉	埼玉県立さきたま資料館 寄居町埋蔵文化財センター鉢形城資料館 埼玉県立博物館
秋田	秋田県立博物館 秋田市立千秋美術館	千葉	千葉県立大利根博物館 松戸市立博物館 東山魁夷記念館 市川市文化会館地下1階展示室 川村記念美術館
山形	鶴岡市教育委員会美術館建設準備室 米沢市上杉博物館	東京	日本銀行金融研究所貨幣博物館 日本銀行金融研究所アーカイブ 国立新美術館 台東区立一葉記念館 文京ふるさと歴史館
福島	福島県文化財センター白河館 富岡町歴史民俗資料館		
茨城	国土地理院地図と測量の科学館 茨城県陶芸美術館 結城市民情報センター 水府明徳会彰考館徳川博物館		
栃木	那須野が原博物館 与一伝承館 鏝阿寺収蔵庫		

東京	田端文士村記念館 府中市美術館 一橋大学古典資料センター貴重書庫 立教大学人文科学系図書館 学習院大学史料館 成城大学図書館 東京大学法学部明治文庫 文化服飾学園服飾博物館 三井記念美術館 サントリー美術館 明治神宮文化館宝物展示室 明治神宮外苑聖徳記念絵画館 ワタリウム美術館 東京美術倶楽部	三重	松阪市文化財センター「はにわ館」 朝日町歴史博物館 伊勢神宮神宮文庫
		滋賀	滋賀県立琵琶湖博物館
		京都	京都市元離宮二条城 宇治市源氏物語ミュージアム 八幡市立松花堂美術館 泉涌寺心照殿 相国寺承天閣美術館 醍醐寺収蔵庫 峰定寺 平等院 三千院円融蔵 佛教大学アジア宗教文化情報研究所 大谷大学博物館 桂文化財修理工房
神奈川	神奈川県立近代美術館葉山 真鶴町立中川一政美術館 三溪園保勝会 大山寺重要文化財収蔵施設 横須賀市美術館	大阪	和泉市いずみの国歴史館 高槻市しろあと歴史博物館 美原町立みはら歴史博物館 国立国際美術館
新潟	新潟市歴史博物館 長岡市立科学博物館	兵庫	兵庫県立陶芸館 小野市立好古館 姫路市立美術館 太子町立歴史資料館 山東町埋蔵文化財センター
富山	高岡市美術館	奈良	法隆寺宝物殿 葛城市歴史博物館 松柏美術館
石川	石川県立自然史博物館 金沢 21 世紀美術館	和歌山	田辺市南方熊楠顕彰館 高野山霊宝館
福井	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 福井市郷土歴史博物館 福井市美術館	鳥取	国分寺収蔵庫
山梨	平山郁夫シルクロード美術館 環境省生物多様性センター 山梨県立美術館	島根	島根県芸術センター 島根県歴史民俗博物館 島根県立美術館 荒神谷資料館
長野	長野県信濃美術館 浅間縄文ミュージアム 坂城町鉄の展示館 ちひろ美術館	岡山	岡山市デジタルミュージアム 岡崎嘉平太記念館 大原美術館
岐阜	岐阜県現代陶芸美術館 飛騨・世界生活文化センター「ミュージアム温故知新」 光記念館	広島	圓鑿記念館
静岡	MOA 美術館 平野美術館	山口	下関市立考古博物館 萩市博物館 毛利博物館
愛知	名古屋市蓬左文庫 豊川市二川宿本陣資料館 産業技術記念館 安城市歴史博物館市民ギャラリー 龍照院収蔵庫	香川	香川県立東山魁夷せとうち美術館 香川県文化会館 香川県歴史博物館
三重	東明寺		

香川	香川県埋蔵文化財センター 金刀比羅宮社務所別館ギャラリー	大分	熊本県立装飾古墳館 長岩屋伝統文化伝習館
愛媛	松野町目黒ふるさと館		大分市立美術館
高知	高知県立文学館		蒲江町重要民俗文化財収蔵庫
福岡	北九州市自然史・歴史博物館 伊都歴史博物館 直方谷尾美術館 福岡市美術館	鹿児島	小武寺収蔵庫 上野原縄文の森展示館 鹿児島県立博物館 鹿屋航空基地隊史料館
長崎	長崎県立美術館（仮）	沖縄	沖縄県立博物館新館
熊本	熊本県立美術館		海洋博覧会記念首里城公園管理センター

文化財の材質に関する調査と援助・助言（保）

（1）文化財の材質調査

様々な文化財資料について、その材料や彩色を蛍光X線分析法や ICP 分析法などで測定して化学組成を明らかにするとともに、X線回折分析法で物質の化学的構造を調査した。蛍光X線分析については、可搬型の装置を用いて、文化財資料が置かれている場所での現地調査も実施した。調査終了後には報告書を作成し、分析依頼元へ提出した。

（資料）

漆器
日本画
日本画
日本画
絵画
和時計
漆器
金属製品
絵画
染織品
木造彩色
屏風絵
日本画
絹製品
漆器
板壁絵
柱絵
金属製品

（依頼者）

静嘉堂文庫美術館
三の丸尚蔵館
東京芸術大学
東京文化財研究所修復技術部
国立台湾博物館
国立科学博物館
浦添市美術館
東京国立博物館
出光美術館
神戸女子大学
東京文化財研究所修復技術部
MOA 美術館
奈良国立博物館
五島美術館
東京文化財研究所修復技術部
平等院
東京芸術大学
文化庁

（2）X線透視撮影による構造調査

	資料名	所蔵者（依頼者）
絵画	兜	メトロポリタン美術館
彫刻	彩色人形 仏像（脱活乾漆像）	個人蔵（国立科学博物館） 大倉集古館
工芸品	万年時計 漆器 漆器 刀剣	東芝 徳川美術館 静嘉堂文庫 日本美術刀剣保存協会

文化財の修復及び整備に関する調査・助言（ 修）

- ・三ノ丸尚蔵館蔵「蒔絵文台・硯箱」の修復指導（加藤 寛）
桃山時代の高蒔絵に使用されている盛り上げ材料の劣化原因について指導を行った。
- ・近世産業遺産「トヨタコレクション」の展示と保存修復に関する指導（加藤 寛）
2005年日本国際博覧会での近世産業遺産に関する展示及び保存修復方法の調査・指導を行った。
- ・金沢城の保存整備に関する指導助言（川野邊 渉）
建造物の整備に伴い、鉛瓦の周辺環境への影響評価方法に関する指導助言を行った。
- ・臼杵市所蔵絵地図の保存修復に関する指導助言（川野邊 渉）
資料調査とデータ整理および修復方法の指導助言を行った。
- ・照恩寺宝塔（大分県武蔵町）の修復に関する指導助言（川野邊 渉）
クリーニングおよび強化処置の指導助言を行った。
- ・加悦鉄道2号機関車の保存修復に関する指導助言（川野邊 渉）
錆進行防止と処置方法の指導助言を行った。
- ・平等院鳳凰堂中堂旧扉絵の保存修復に関する指導助言（川野邊 渉）
扉絵の収蔵方法などに関する指導助言を行った。
- ・二式戦闘機エンジンの保存修復に関する指導助言（川野邊 渉）
東京湾で発見された陸軍二式戦闘機「鍾馭」の保存修復処置に関する助言を行った。
- ・陸軍91式戦闘機の保存と活用に関する指導助言（川野邊 渉）
胴体部分の保存状態の調査と活用に関する指導助言を行った。
- ・日本銀行本店貴賓室の保存修復に関する指導助言（川野邊 渉）
室内調度の劣化状況の調査と環境測定および修復方法の指導助言を行った。
- ・熊野磨崖仏（豊後高田市）の保存整備に関する指導助言（川野邊 渉）
藻類と思われる生物繁殖状況の調査と環境測定および防除方法の指導助言を行った。
- ・東京駅の保存修復に関する指導助言（川野邊 渉）
東京駅の修復に伴い、RTOのレリーフとドーム内部のレリーフ部分の構造調査と修復方法について指導助言を行った。
- ・称名寺（横浜市）庭園木橋の保存修復に関する指導助言（川野邊 渉）
木橋の劣化状況調査と環境測定および修復計画の指導助言を行った。
- ・重要文化財0.5t及び3tスチームハンマーの修復後処置に関する指導助言（川野邊 渉、森井 順之）
横須賀市ヴェルニー公園に展示されているスチームハンマー2基について、周辺環境調査およびメンテナンスに関する指導助言を行った。
- ・愛媛県立科学博物館所蔵グレイトフォールズ型転炉の保存修復に関する指導助言（川野邊 渉、森井 順之）
昨年防錆処理を行ったグレイトフォールズ型転炉の保存環境に関する調査、指導助言を行った。
- ・史跡盛岡城跡保存整備現地指導（内田 昭人）
2000（平成12）年より、石垣の崩壊の顕著な8地区33箇所について評定点を設置し、コンタクトゲージにより石垣の変位量を測定している。地震の前後における石垣の挙動の調査、石垣の修復について指導・助言を行った。
- ・国宝高松塚古墳壁画の保存修復に関する指導助言（川野邊 渉・加藤 雅人・早川 典子・森井 順之）
国宝高松塚古墳壁画の保存修復計画に関する調査助言。
- ・特別史跡キトラ古墳壁画の保存修復に関する指導助言（川野邊 渉・加藤 雅人・早川 典子・森井 順之）
特別史跡キトラ古墳壁画の保存修復に関する調査助言。
- ・宮内庁書陵部所蔵文書接着物質に関する調査助言（早川 典子）
平安期の文書を接着していた材料に関して調査分析を行い、助言した。
- ・醍醐寺所有国宝渡海文殊図修理に伴う調査協力（早川 典子）
画面上の諸処にみられる澱粉糊らしい付着物除去の可能性の検討。

- ・飯能市出土の常滑甕内容物に関する理化学的分析（早川 典子）
常滑甕及び内容物の現物調査及び内容物の採取・分析
- ・重要文化財板絵着色聖徳太子絵伝の樹脂処置についての指導（早川 典子）
合成樹脂を使用され、損傷を生じた画面の再修理に関する指導助言。
- ・重要文化財吉水蔵聖教類胎蔵界記接着物質に関する調査助言（早川 典子）
文書を接着していた材料に関して調査分析を行い、修復助言を行った。
- ・重要文化財小早川家文書接着物質に関する調査助言（早川 典子）
文書を接着していた材料に関して調査分析を行い、修復助言を行った。
- ・重要文化財和名類聚抄および重要文化財天平経の接着物質に関する調査助言（早川 典子）
文書を接着していた材料に関して調査分析を行い、修復助言を行った。

無形の文化財の保存・伝承・活用等に関する調査・助言（ 芸）

無形の文化財の保存・伝承・活用等に関する各種委員会等へ出席し、以下の調査・助言を実施した。（宮田繁幸・鎌倉恵子・高桑いづみ・飯島満・俵木悟）

- (1) 文化庁文化財部に対する助言（「奈良会議」に関して） 12 件
- (2) 文化庁伝統文化課に対する助言（ふるさと歌舞伎大集合の企画に関して） 2 件
- (3) 文化庁芸術文化課地域文化振興室に対する助言（文化芸術による創造のまち支援事業に関して） 30 件
- (4) 鳥取県に対する助言 2 件
- (5) (財) 伝統文化活性化国民協会への助言（伝統文化データベース、ふるさと文化再興事業、伝統文化子ども教室関連事業に関して） 10 件
- (6) (財) ユネスコアジア文化センターに対する助言 16 件
- (7) 国立民族学博物館に対する助言 4 件
- (8) 全国民俗芸能大会に関する調査・助言 6 件
- (9) 全国青年大会郷土芸能の部運営委員会での助言 2 件
- (10) 早稲田大学演劇博物館への助言 4 件
- (11) 講談調査推進委員会への助言（講談記録作成事業に関して） 10 件

文化財の虫菌害に対する調査指導（ 保）

文化財の虫・カビ等の被害への対応について問い合わせを受け、指導・助言を行った。（木川りか・佐野千絵・山野勝次・石崎武志・三浦定俊）

文化財の虫菌害に対する調査	13 件
相談受付件数	77 件

龍門石窟研究院研究員の受け入れ（セ）

目 的

東京文化財研究所では、世界の貴重な文化遺産である中国の龍門石窟の保存について、中国・龍門石窟研究院と協力して調査、研究をしているが、その協力事業の中でも、特に龍門石窟研究院の人材育成は極めて重要な課題であるため、若手の研究者を日本に招へいし、石窟の保存修復に関する種々のテーマについて研修を行っている。

研修内容

2004（平成16）年5月から、国際協力機構（JICA）の依頼により李心堅研究員の研修を受け入れ、2005（平成17）年1月まで行った。研修においては、龍門石窟の状況と類似した問題をもつ日本国内の遺跡として、鎌倉市の「やぐら群」をフィールドとし、そこで起きている劣化現象に関して自らの問題意識で解明し、それに対する保存対策を考察していく課程を訓練した。その結果、やぐらの劣化の一因として、断層に伴う亀裂の影響があることが確認され、現在認められる亀裂の中で、危険性が高いかどうかを計測によって評価し、分類した。この成果は、やぐらの保存に貢献するとともに、龍門石窟における保存対策を検討する上でも有効と考えられる。また、得られた成果は関連学会においても発表され、高い評価を得た。また、2004（平成16）年11月には、范子龍研究員を招き、風化した大理石製文化財の保存法に関する研修も行った。



風化度合いを測定する李心堅研究員